2018 年度事業報告書

（2018 年４月 ～ 2019 年３月）

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト

１．概要

本年度は、昨年と同様の新規植林を年間 15ha とし、Tanah Kami Project の第 3 弾として、上半期では、ドローンのマッピング機能を利用しての、精密航空地図を作成し、その地図の分析から、既植林樹木の生育状況、未植林箇所、地勢、自然災害、病害虫の発生、違法開墾、などを容易に把握するために、サラワク州森林局の専門家に分析をしてもらう事で、今後の課題が提示されました。下半期では、、コミュニティ・フォレストリーを中心に、近隣の先住民族との果樹栽培、沈香の植林等のアグロフォレストリーを行いながら、ドローンを利用した空撮にて、植林地だけ無く、村や、その子供たちの通う小学校などを、見てもらう事で、先住民族の人々に、環境保全に対する意識向上のための Kpg. Nyalitak 村や SK. Nyalitak 小学校で上映会、及び、森林保全の講習会を行いました。

上半期は、京浜合同ロータリークラブ、アイチョイスの植林、情報労連/東京都協議会の植林、立教大学の観光学部の植林などを含め、合計 12.7ha(5,080 本)の植林を行い、年間 15ha の大半が達成できました。7 月の後半には、ドローンによるマッピング空撮を行い、8 月中旬には、データ処理された精密航空地図が完成し、各方面の専門家に分析を依頼し、今後の課題がより明確となり、下半期の植林では、その情報をもとに、効率的な植林や維持活動が行う事が出来ました。立命館慶祥高校や東京羽田ロータリークラブ、アイチョイスなどの植林を、4.5ha(1,800 本)を行い、2018 年度は、17.2ha(6,880 本)を達成できました。また、村落部では、コミュニティ・フォレストリーを中心に、近隣の先住民族との果樹栽培、沈香の植林等のアグロフォレストリーを行いました。

Tanah Kami Project 第３段として、10 月には、Kpg. Nyalitak 村や Sk. Nyalitak 小学校で、ドローンによる撮影(動画/写真)を行い、その上映会や森林保全の講習会を村と小学校で、3 月に行いました。

ここ数年、植林対象樹種の Shorea や Dryobalanops などの結実が無く、苗木不足が心配されましたが、2018 年 9 月頃から各地からの開花/結実の知らせを受けて、実を各地より集めて、11 月～2 月の期間は、苗木作成を集中的に行いました。

２．作業の詳細

1）サラワク州森林局担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2018 年４月２日 サラワク州森林局植林部会議室

出席者 ： Mr. Wong Siong Kuan（サラワク州森林局植林部部長）,
Mr. Kos Anak Amud （サラワク州森林局植林部副部長）
Mr. Biha bin Razali (サラワク州森林局植林部課長)
Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）
鍋嶋誠一朗 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長） 延べ６名

内容 ：植林部部長の Mr. Wong Siong Kuan 氏も含め、植林活動の体制や、
サラワク州森林局の協力内容の確認、活動の問題点や課題に関する打合わせを行いました。

２）サバル森林保護地区近隣の先住民との打ち合わせ

日時・場所： 2018 年 4 月 3 日 サバル森林保護地区内事務所にて。

出席者 ： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

Mr. Ekin Empati 他村人 15 名 延べ 18 名

内容 ： 年間計画における植林の日程や人員動員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民の農耕作業との兼ね合いができる日程等の打ち合わせ。コミュニティ・フォレストリー実践における方針の打合せ。

３）アイチョイス植林、及び、サバル森林保護地区の年間 15ha の第 1 回植林活動、及び、維持活動

・日時、場所 2018 年 4 月 13 日～4 月 17 日 サバル森林保護地区

植林苗木 400 本 (1ha)

樹種：*Dryobalanops Beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民 10 名 他

4）京浜合同ロータリークラブ、及び、サンパディ森林保護地区にて、年間 15ha の第 2 回植林活動、及び、維持活動

日時、場所 2018 年 4 月 3 日～4 月 12 日/ 4 月 18 日～22 日 サンパデイ森林保護地区

植林苗木 2,283 本 (5.7ha)

樹種：*Callop[hyllum sp.*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民族 10 名

5) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 3 回植林活動、及び、維持活動

日時、場所 2018 年 5 月 11 日～5 月 23 日 サバル森林保護地区

植林苗木 1,200 本 (3.0ha)

樹種： *Dryobaranops sp/ Callophylum sp. /Artocarpus altilis/ Durio zibethinus*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民族 10 名

6）情報労連東京都評議会の植林、及び、サバル森林保護地区の年間 15ha の第 4 回植林活動、及び、維持活動

・日時、場所 2018 年 6 月 7 日～6 月 13 日 サバル森林保護地区

植林苗木 400 本 (1.0ha)

樹種：*Dryobalanops Beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 （NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

先住民 10 名 他

7) ドローンによるマッピング空撮作業

・日時、場所　2018 年 7 月 13 日～7 月 15 日　サバル森林保護地区

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民 2 名

8) ドローンのマッピング空撮素材からのデータ処理/精密航空地図作成

日時、場所　2018 年 8 月 10 日～8 月 19 日

・従事者　Mr Carlloz Nelson Laio/ Dr. Ahmad Bin Ampeng /Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

Mr. Andy Newton　（Flyzone MJG）

9）大分県「NPO 緑の大地の会」による植林活動

日時、場所　2018 年 8 月 11 日～8 月 17 日　サンパデイ森林保護地区

植林苗木　　600 本　（1.5ha ）

樹種：*Dryobalanops sp Meranti sp Callophyllum sp*

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民族 15 名

10）立教大学観光学部植林、及び、サバル森林保護地区の年間 15ha の第 5 回植林活動、及び、維持活動

・日時、場所　2018 年 8 月 13 日～8 月 24 日　サバル森林保護地区

植林苗木　800 本 (2.0ha)

樹種：*Dryobalanops sp / Artocarpus sp*

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民 10 名　他

11)ドローンのマッピング空撮素材から出来た精密航空地図の分析

日時、場所　2018 年 8 月 27 日～8 月 31 日

・従事者　Mr. Kos Anak Amud/Mr. Biha Bin Razali/Mr Carlloz Nelson Laio　/

Dr. Ahmad Bin Ampeng/ Dr. Affendi Bin Suhaili /Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

Mr. Andy Newton　（Flyzone MJG）

12）サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業（４~9 月を通し）

・日時、場所　2018 年４月~９月　サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民 10 名

13)　Tanah Kami Project

・日時、場所　2018 年 10 月 24 日～10 月 25 日

SK Nyalitak 小学校 / Kpg. Nyalitak 村

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

・内容　：　SK Nyalitak 小学校 / Kpg. Nyalitak 村にて、

ドローンを利用して、空からの映像を撮影。

14) ランデ森林保護地区　立命館慶祥高等学校　植林

・日時、場所　2018 年 11 月 4 日～11 月 6 日　ランデ森林保護地区

植林苗木　100 本 (0.3ha)

樹種：　Palaquium Gutta

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

先住民 5 名　他

15) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 6 回植林活動、及び、維持活動

・日時、場所　2018 年 11 月 10 日～11 月 16 日　サバル森林保護地区

植林苗木　200 本 (0.3ha) **ドローンによる作成された航空精密地図の有効利用

樹種：　Dryobalanops sp/　Artocarpus　s p

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

先住民 10 名　他

16)　経団連自然保護協議会　第 95 回 NGO 活動成果報告会

・日時･場所　2018 年 12 月 6 日　経団連会館 20 階会議室

・従事者　酒井和枝　天野正明　鍋嶋誠一朗

17) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 7 回植林、及び、エコプロダクツ 2018 の植林、及び、維持活動

・日時、場所　2019 年 3 月 5 日～3 月 11 日　サバル森林保護地区

植林苗木　600 本 (1.5ha)

樹種：　Shore asp / Dryobalanops sp

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

先住民 10 名　他

18) Tanah Kami Project

・日時、場所　2019 年 3 月 19 日

SK Nyalitak 小学校 / Kpg. Nyalitak Jaya 村

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

Dr. Mugunthan Perumai (UNIMAS 大学)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

テン・イン・シオン　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト会員）

・内容　：　SK Nyalitak 小学校 / Kpg. Nyalitak 村 にて、空からの映像の上映会、及び、

希少動植物や森林の大切さ(小学校)、森林資源の有効利用(村)をUNIMAS大学の博士より説明会。

19) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 8 回植林、及び、東京羽田ロータリークラブ創立 60 周年記念植樹、及び、維持活動

・日時、場所　2019 年 3 月 12 日～3 月 22 日　サバル森林保護地区

植林苗木　1,000 本 (2.5ha)

樹種：　Dryobalanops sp / Calophyllum sp

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

先住民 10 名　他

20) サバル森林保護地区の年間 15ha の第 9 回植林、及び、生協連合会アイチョイス協力会の植林、及び、維持活動

・日時、場所　2019 年 3 月 23 日～3 月 31 日　サバル森林保護地区

植林苗木　400 本 (1.0ha)

樹種：　Shorea Sp / Dryobalanops sp

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

先住民 10 名　他

21)サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業（10~3 月を通し）

**近郊の森林より種子集めをした上で、苗作成作業

・日時、場所　2018 年 10 月~2019 年 3 月　サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

・従事者　Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一朗　（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

先住民 10 名

以上